

課題解決型研究プログラム 統合研究プログラム

委員会からの主要意見

現状についての評価・質問等

- | |
|---|
| <p>○様々な課題を統合化するという社会的に重要な研究に対し、プログラム自体が組織的に構成されており、世界からアジア、日本の市町村までの各レベルを対象とし、国内、国際のバランスもよくうまく進捗している。</p> <p>○AIM を基軸として、国内外の機関との連携やアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる点も高く評価される。</p> |
|---|

今後への期待など

- | |
|--|
| <p>○社会が適応計画を立案するための科学的知見の提供は国立環境研究所ならではの研究であり、積極的に進めて欲しい。今後は、研究目的のさらなる明確化や、社会や地域への実装を実現した場合の効果についての客観的な評価が必要であろう。</p> <p>○統合評価モデルの検証やシナリオの妥当性の評価があってもよいのではないか。</p> |
|--|

主要意見に対する国環研の考え方

- | |
|---|
| <p>① 気候変動に対する適応と緩和の取り組みを国土、地域のスケールで具体的に構築する研究を積極的に進めます。研究の社会実装を通じてモデル理論や手法を検証するとともに研究の戦略構築に反映する仕組みを検討いたします。</p> <p>②モデルの国土、地域への適用研究として進めるうえで、その実用性、論理性を他の主体の参加を含めた評価の仕組みを検討いたします。</p> |
|---|